

科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
臨床見学実習	前期	1年	必修	1単位	45h
担当教員名	メールアドレス	オフィスアワー			
◎吉松竜貴, 高杉潤, 宇都宮正博, 河辺信秀, 平野康之, 大竹祐子, 河江敏広, 小泉圭介, 中村睦美, 遠藤悠介, 作山晃裕, 鬼塚勝哉, 杉山聡	tatsuki.yoshimatsu@tohto.ac.jp	事前にメールでご相談ください			
授業の概要					
臨床見学実習は1年次に実施する。実際に働く理学療法士を見てその仕事内容や役割を知り、医療施設以外で行われる理学療法の位置づけについて早い時期から学ぶことで、自身の理学療法士としての進路選択の一助とする。また、多職種が対象者一人一人に向き合うチーム医療の重要性を学び、高齢者や障害を持つ人が実際にどのように生活しているかを知ることで、理学療法を学ぶ意欲の醸成を行う。医療機関（リハビリテーション部門）や介護・福祉施設などの対象者に初めて接する機会であり、実務的な早期体験としての意義を持つ。					
キーワード	到達目標				
地域理学療法 地域リハビリテーション 介護保険制度 多職種連携	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習施設の概要（組織、理念、役割など）を理解する。 2. 実習施設が提供するサービス（入所、通所、在宅）について理解する。 3. 対象者の障害像（心身機能・動作能力・生活状況など）について理解する。 4. 理学療法士（機能訓練担当者）の具体的な業務や役割を理解する。 5. 他の医療介護関連職種（看護師、介護士など）の特性や役割を理解する。 				
学習内容					
<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習施設に学生が出向き、実習施設の職員に指導を受ける。教員は帯同しない。 ・ 複数の実習施設と契約しており、実習開催期間は2週間に設定している。 ・ 2週間の期間のうち、ひとりの学生が実習すべき日数は5日間（1日8時間×5日間＝45時間）である。 ・ 学生はひとつの実習施設でこの5日間を消化する。なお、学生は複数名のグループで実習施設に出向く。 ・ 実習中、学生は臨床実習指導者（実習施設の職員）の指示に従い、指導者の助言を受けながら見学する。 ・ 見学を通して以下に挙げる項目を基本的に理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域リハビリテーション分野において理学療法士が携わる施設の概要と理学療法士の業務内容 ・ 理学療法業務の流れと、その遂行に必要な知識・技術 ・ 学生としての基本的な実習態度 ・ 指導者や関係スタッフ、対象者とのコミュニケーションに必要な技術と教養 ・ 実習の開催に先立って、学内でも事前講習（実習オリエンテーション）が授業の空き時間に設定される。 ・ 実習終了後は自身が経験した内容についてレポートにまとめ、これを大学に提出する。 ・ 臨床実習には「専門科目」「専門基礎科目」に類する全ての授業が関連するため、実習の開始までに知識・技術の再確認に努めること。 ・ 臨床実習要綱「学外実習の手引き」を別途に定めている。実習は全てこれに基づいて運営する。 					
受講要件					
実習開始までに、1年次前期に開講される必修の専門科目および専門基礎科目の成績判定に必要な条件（出席日数など）を満たしていること。					
評価					
レポート	その他			合計	
50%	実習中の態度や参加状況 50%			100%	
教員からのメッセージ					
主体的・積極的に学んでください。自分が近い将来にそれ（理学療法業務）をひとりで行うつもりで見学してください。学生としてではなく、社会人の一員として節度ある態度で臨みましょう。					